



みんなの文芸

俳句

うらほる俳句会

星降りて壊れし山河抱きおり
悠然と留守居の犬や暮れやすし
温いとこ猫にとられて秋始め
裾上げてくぼみさけゆく秋雨かな
病葉に雨滴静けきシンフォニー
文明の利器はいづこに虫時雨
悠長に潮騒のなか鮭を待つ

井下まさの
大山みどり
黒田ちえ子
柴田 岱華
菅谷 日月
福原 仁子
山村 幹雄

川柳

浦幌川柳会

八十路行くレースの衣装天邪鬼邪
二ヶ月の入院ボケのパスワード
妥協せず自惚れ少し描ける年齢
猛暑日に凍る大地をせめて描く
四世代集い手合わす亡夫の忌

大山 研
山村 幹雄
阿部 麗紅
加藤 未貴
橋本 葉子

川柳

上浦幌句の会

なき夫とポニーのばん馬の力走を
暗闇に満天の星のきらめき
明るさになれて暗がりはい歩く
朝日あび昨日の嵐がうその様
白百合に揚羽蝶こぬ間に秋の空
退院に赤飯買っておもてなし
秋祭りみんなで拌み豊作を
秋の空きれいな星がかがやくよ

笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美
加藤 明敏

短歌

心友愛会

秋風がそよそよめぐる寒くなり
主人も仕事終て家で見守り
秋風に飛びかう赤トンボ青空
パーク場楽しい声か
ななかまど赤く色づき秋を知る
パークの打つ音響く山

浅野 京子
山岸 明美
中田 麗子

これからの余生明るく楽しくか
生き長らえる事願いつつ

前川 静江

パーク場そよ風うけて葉も落ちる
赤い実を見せななかまどかな

小川 房子

地震あり一人暮らしの身が細る
子等から電話嬉しく聞いて

小澤 つや

さわさわと緑風うけて草むしり
背なで雀よ我とハミング

佐藤 成子

秋空は青く晴れ渡り我もまた
命の限り健やかにや

星 愛子

編集後記

■ナナカマドの真つ赤な実が街路樹を彩り、秋の深まりを感じる季節です。今年こそ浦幌の紅葉を満喫するぞと思いつつ、なかなか出かけられないでいます。

■9月23日の「ふるさとのみのり祭り」は、午前中小雨が降りましたが回復し、今年も盛況のうちに終了することができました。「みのりまき」やくじ引きでは、皆さんはなにか当たりましたでしょうか？

■プロ野球は日本シリーズを残すのみ。地元北海道のファイターズはクライマックスシリーズで敗れてしまいましたが、来季もまた、全道を熱くさせる戦いをしてくれたいことを願っています。

(大)
■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。